

綾里沖の貨物船座礁、沈没に伴う対応状況

〔平成 16 年 12 月 13 日 18 時 30 分現在〕
〔総務部 総合防災室〕

綾里沖の貨物船座礁、沈没に伴い、岩手県災害警戒本部を平成 16 年 12 月 11 日 8 時 00 分（大船渡地方支部 同日 8 時 15 分）に設置して情報収集等を行っている。

現在まで把握している状況は次のとおりである。

1 状況

(1) 座礁、沈没の日時、場所

12 月 9 日（木）22 時 05 分頃 大船渡市綾里崎灯台から南南西約 900 メートル付近海岸において座礁

12 月 10 日（金）18 時 10 分 水深約 15m の海底に沈没

(2) 船舶の要目等

貨物船「第 2 えびす丸」

総トン数 499 トン

長さ 73 メートル

乗組員 5 名

船籍 愛媛県新居浜市

所有者 恵比須汽船株

積荷 上砂 1,500 トン（ふっ素とほう素を含む土壌）

燃料油 A 重油約 20kl、C 重油約 43kl

(3) 第 2 えびす丸の動静

12 月 8 日（水）神奈川県川崎港を出港し、秋田県船川港へ向かっていた。

2 対応状況等

【11 日】

- (1) 午前 0 時、油流出が見られたことから、オイルフェンス 600m を船の沖側東西方向に敷設した。
- (2) 被災したワカメ養殖施設は、午前中に全て復旧した。
- (3) サルベージ会社のダイバーが沈没船の状態を調査することとしていたが、風が強く波がうねりを伴って高いため、潜ることができない状況である。

【12 日】

- (1) 午前 8 時から漁船 4 隻及び要員約 20 名で油回収作業が行われた。
- (2) 午後から沈没船の燃料油等の抜き取り作業がサルベージ会社により開始された。
- (3) 現地対策本部会議の結果、次のことが決定された。
沈没船の燃料油等の抜き取り作業は、夜間においても可能な限り継続する。
13 日（月）午前 7 時から漂流油の回収作業を引き続き行う。

【13 日】

- (1) 沈没船の燃料油の抜き取り作業は順調に進み、船体の片側（海面側の左舷側）は終了した。
- (2) 本日の流出油の除去作業については、風浪のため中止となった。
- (3) 現地対策本部会議の結果、次のことが決定された。

〔明日の作業等について〕

沈没船の燃料油の抜き取り作業は、14 日（火）早朝から引き続き行う。

流出油については、上空からの確認では薄い油膜が見られる程度に拡散したため、体制を縮小して、船5隻で引き続き回収を行う。

水質検査について、前回(10日)と同じ箇所です採水し、15日に分析(ほう素、ふっ素)を行う。

〔その他の決定事項〕

海上保安庁から、「深刻な状態は回避したと判断されることから、現地対策本部会議を今後は『船主側からの説明会』とすること」が提案された。

船主側から「明日、16:00からこの会場で説明会を開催する。」旨、表明があった。

3 周辺海域の水質検査結果について

沈没した第2えびす丸周辺の海水を10日(金)午後採水し、積荷の汚染土壌に含まれるふっ素及びほう素について岩手県環境保健研究センターで分析した結果、ふっ素は1.1mg/L、ほう素は4.3~4.8mg/Lであった。

今回の分析結果からは、同一海域の汚染されていない海域の海水と座礁船周辺の海水とは顕著な差は認められない。

分析結果(採水日:12月10日 分析日:12月11日)

採水場所	東	西	南	北	ブランク
ほう素(表層)	4.3mg/L	4.6mg/L	4.6mg/L	4.6mg/L	4.6mg/L
ほう素(2m層)	4.6mg/L	4.4mg/L	4.8mg/L	4.6mg/L	4.4mg/L
ふっ素(表層)	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L
ふっ素(2m層)	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L	1.1mg/L

注) 東:座礁船から東に20~30m

西:座礁船から西に20~30m

南:座礁船から南に10m

北:座礁船から北(波瀬)

ブランク:座礁船から影響を受けない海域の海水